

# 2010 年度秋学期の授業評価アンケート調査について

## 東洋大学国際地域学部

2011 年 4 月 25 日  
自己点検・評価委員会

国際地域学部では、2010 年度秋学期に授業評価アンケートを実施しました。

実施科目数は 49 科目（国際地域学科 15、国際観光学科 7、非常勤 27）、回答した学生数は 4,256 人、回答率は 63%でした。みなさんのご協力に感謝します。

国際地域学部では、このアンケート結果を教員の授業改善に向けた議論に役立てています。わかりやすい授業をすることと、それぞれの分野に必要な知識をしっかりと身につけることとの両立をめざして改善に取り組んでいるところです。

### I. 集計結果

集計結果は図 1、表 1 のとおりです。問 1 は「あなたはこの講義をどのような基準で選びましたか」という質問であり、必修科目なども含まれているため学部・学科等の集計では対象外としています。授業ごとに評価結果を参照していますが、ここでは省略しました。

全体的に 3.76～4.40 の評価を得ています。評価が 4 より低かった項目は次の 3 問で、授業の改善に向けたさまざまな努力が今後とも必要です。

問 3.授業に意欲的に取り組みましたか(3.89)

問 4.授業内容をよく理解できましたか(3.80)

問 7.授業内容に触発され次の意欲にむすびつきましたか(3.76)

評価が高かった項目は次の 12 つで、学生の皆さんが積極的に授業に出席し、熱心に取り組んだ努力を反映しています。これらの項目は、さらに高い評価となるようにしていくことが大切です。

問 2.この授業によく出席しましたか(4.27)

問 5.授業内容はシラバスと整合していますか(4.07)

問 6.教科書、参考書、配布資料などは役に立ちましたか(4.04)

問 8.授業開始・終了の時間は守られていましたか(4.40)

問 9.授業の進度は適切でしたか(4.19)

問 10.専門知識や用語の説明はわかりやすかったですか(4.00)

問 11.授業は要点をとらえた構成になっていましたか(4.09)

問 12.授業へ熱心に取り組んでいましたか(4.40)

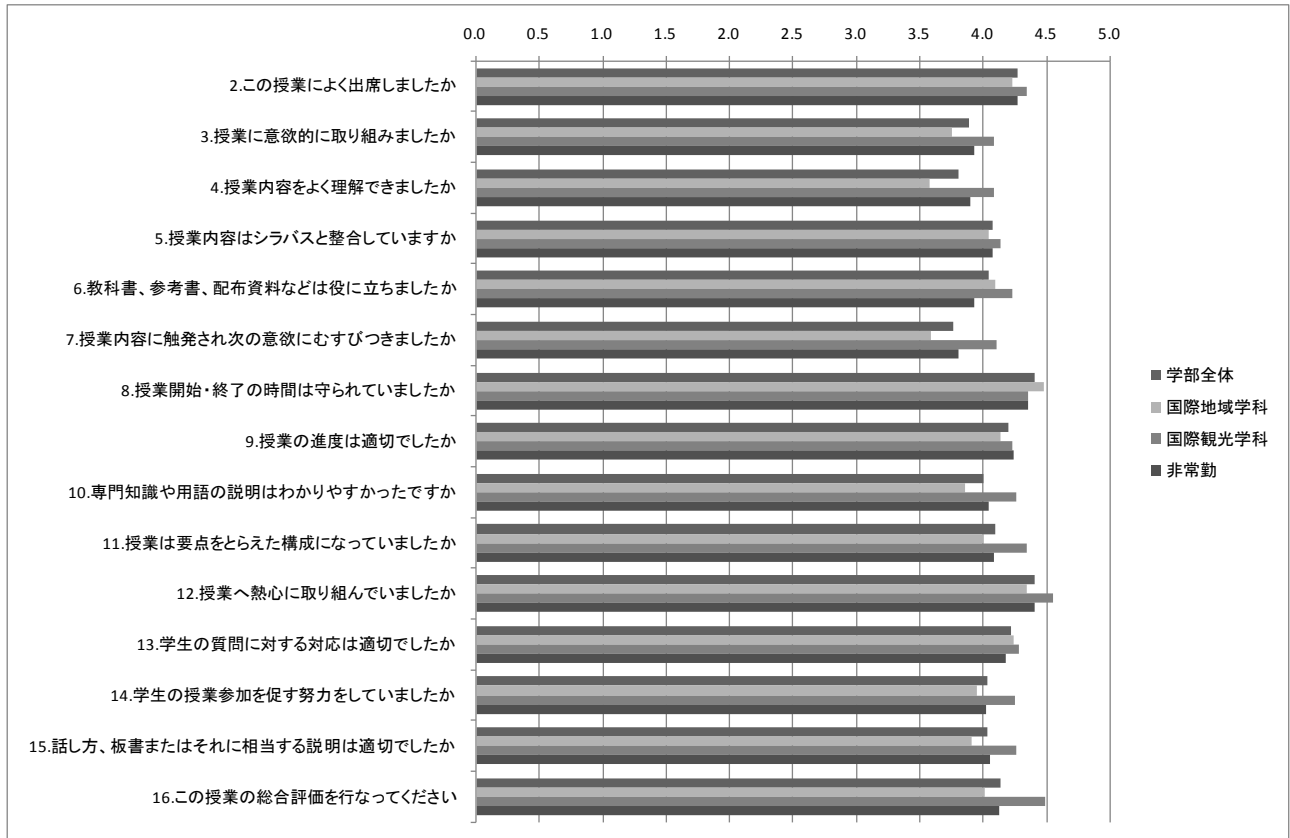
問 13.学生の質問に対する対応は適切でしたか(4.22)

問 14.学生の授業参加を促す努力をしていましたか(4.03)

問 15.話し方、板書またはそれに相当する説明は適切でしたか(4.03)

問 16.この授業の総合評価を行なってください(4.14)

図1 授業評価アンケートの集計結果



出典：国際地域学部 2010 年度秋学期授業評価アンケート結果から作成

表1 授業評価アンケートの集計結果

	設問	学部全体	国際地域学科	国際観光学科	非常勤
I	1 あなたはこの講義をどのような基準で選びましたか				
	2 この授業によく出席しましたか	4.27	4.2	4.3	4.3
	3 授業に意欲的に取り組みましたか	3.89	3.8	4.1	3.9
II	4 授業内容をよく理解できましたか	3.80	3.6	4.1	3.9
	5 授業内容はシラバスと整合していますか	4.07	4.0	4.1	4.1
	6 教科書、参考書、配布資料などは役に立ちましたか	4.04	4.1	4.2	3.9
	7 授業内容に触発され次の意欲にむすびつきましたか	3.76	3.6	4.1	3.8
III	8 授業開始・終了の時間は守られていましたか	4.40	4.5	4.4	4.3
	9 授業の進度は適切でしたか	4.19	4.1	4.2	4.2
	10 専門知識や用語の説明はわかりやすかったですか	4.00	3.9	4.3	4.0
IV	11 授業は要点をとらえた構成になっていましたか	4.09	4.0	4.3	4.1
	12 授業へ熱心に取り組んでいましたか	4.40	4.3	4.5	4.4
	13 学生の質問に対する対応は適切でしたか	4.22	4.2	4.3	4.2
	14 学生の授業参加を促す努力をしていましたか	4.03	3.9	4.2	4.0
	15 話し方、板書またはそれに相当する説明は適切でしたか	4.03	3.9	4.3	4.1
V	16 この授業の総合評価を行なってください	4.14	4.0	4.5	4.1
	回答者数	2,699	1,064	442	1,193
	実施科目数	49	15	7	27

出典：国際地域学部 2010 年度秋学期授業評価アンケート結果から作成

## II. 自由記述部分

さまざまな意見が自由記述には記されており、学生のみなさんの多様な意見がわかります。その中で、特徴的な点をまとめてみました。それぞれの授業での改善と学部・学科としての改善が重要です。

### 【国際地域学科】

国際地域学科の学生の自由記述による意見では、個別の授業に対して内容が分かりやすい、テーマが身近になった、パワーポイントなどの情報機器の利用や配布資料が分かりやすいといった評価の声の一方で、それらの使い方に対する要望や専門用語の説明、板書・声の大きさ・授業進度に関する指摘があります。授業中の私語、学生への注意を増やしてほしいといったものも挙げられています。また、学食への不満なども聞かれました。改善の方向へと検討していきたいと思います。

### 【国際観光学科】

授業の際に配布する資料の量が多い、まとめづらいという声がどの授業からも聞かれています。教員の側でも工夫をしていきたいと思いますが、学生それぞれに授業を聞いた上でファイリングする、まとめるという作業をする努力も必要ではないかと思います。また Web 情報システムからダウンロードするのは面倒という声もありましたが、果たしてどうでしょうか。これから受ける授業について予習をする意味もあります、受け身ではなく、能動的に授業に参加してもらいたいものと思います。

また、学習環境についてのコメントもいくつかありました。PC 室のパソコンの数が足りずに使えない、教室のサイズとクラスのサイズの不一致、また、エアコンの設定や換気について、あるいは、学食への不満なども聞かれました。改善の方向へと検討していきたいと思います。

## III. 教員から学生へのコメント

皆さんからの自由記述などをもとに、それぞれの教員から学生のみなさんへのコメントを掲載します。学生のみなさんと教員の相互の意見交換のきっかけになれば幸いです。なお、名前の記載は教員本人の判断に拠っています。

### 【国際地域学科】

・エネルギー資源は、まず社会・経済に不可欠で、大きな役割を果たしていると理解してほしい。その上で『エネルギー・環境問題を身近に感ずる』ようになれば、諸君が社会において活躍する基盤となることは間違いない。(久留島 守広)

・もっと質問してください。講義中でも、講義終了後でもかまいません。(中上光夫)

・講義では生活環境から地球環境まで幅広く環境問題を取り扱い、毎回映像等で解説を行いました。講義がきっかけで環境問題全般について興味を持ってもらえたら幸いです。また今年度はE C O検定の公式テキストを教科書として使用しました。受講した学生が同検定を受検し資格を取得し、キャリアアップにつなげてほしいと思います。(北脇秀敏)

・地域のデータを分析するために必要な統計手法の理解がエクセルの演習で進んだと思います。これをきっかけにデータの収集・集計から分析へ進める力を付けてください。

(中挟知延子)

・必ずしも興味がわからない授業でも自分の興味と結び付ける努力をしてほしい。

・質問には必ず回答するので積極的に提出してほしい ただしあまりに一般的なことは 時間の制約があるので遠慮してほしい。(金子 彰)

・他の講義でもそうですが、この講義はさまざまな側面から環境にアプローチしており、しっかり説明を聞いても理解が難しい部分などもあるかと思います。そのような時は、講義を少しだけ早めに終わるようにしてあるので、講義終了後に遠慮無く伝えて欲しいと思います。(荒巻俊也)

・異文化理解においては、単に「違い」を探すだけではなく、私だちとの「共通点」にも目を向ける必要かおることを、講義では強調しました。講義ではイスラームを取り上げましたが、他のケースでもこの点を参考にしてもらえればと思います。(子島 進)

・ **Students must take responsibility for their own learning at the university level.**

**This is very important when it comes to language learning which takes a long time and much effort. (Hughes, Robert)**

・約 75%が「改善したらよいと思う点はなし」と答えているので、基本的に変えませんが(進度や教科書)。但し、スライドと板書を改善できるよう検討します。(久松佳彰)

#### [国際観光学科]

・「観光」の視点を通じて、歴史を相対的に見ることを講義の本旨としてきましたが、皆さんの最終レポートを通じて、そうした、歴史を動的にみる見方が、皆さんの中に備わりつつあることが確認できたことは、授業者にとってうれしい限りです。一方で、一コマの授業に、内容を盛り込みすぎていて時間内に終わらないことが多かったことについても指摘があり、授業者にとっての今後の課題としたいと考えます。熱心に授業に取り組んでくれる人が多く、私も楽しく授業ができました。当授業を契機として、これからも、歴史に親しみ、ぜひ、その醍醐味を実感して行ってほしいと思います。(歴史と観光・須賀忠芳)

・ **By knowing other cultures, you can learn about your own culture more.(言語と文化・Robson Graham)**

・他大生と比較するのはやめてほしいという意見があった。ゆとり教育のおかげで今の学生たちは評価を絶対評価でしか受けてきておらず、相対評価というものに慣れていない。でも、世の中の評価は絶対評価だけではないということを大学時代に理解しておかないと、社会人になってから戸惑うことになる。自分が努力しても、他の人がもっと努力していたら評価は下がるんだということを身にしみ感じてもらうために、そして、自分たちの全体の中でのポジショニングを理解してもらうために、これからも、がんがんに他大生と比較するので、そのつもりでいてください。(島川崇・福祉観光論)

・外部講師として企業の方に授業をお願いしました。また DVD など映像を使った授業は、学生に好評でした。ただ、このような情報は、皆さんからもアクセスは可能なはず。もっと自分から情報を得る積極的な姿勢を期待します。(顧客マネジメント論・道畑美希)

#### [非常勤講師]

授業の内容については、おもしろかった、新たな学びがあった、リアルな話が聞けたなどポジティブな意見が多く聞かれました。板書や説明の仕方については、学生からはいくつか改善を求める声も聞かれましたが、多くの先生方から今後工夫をしていくとの回答を頂いています。また、先生方からは、学生の授業中の私語の多さや居眠りなど、授業への参加態度について疑問を投げかける声も多く寄せられています。授業は座って聞くだけのものではなく参加するものです。何のために授業に参加するのか、

学生たちにはよく考えてみて欲しいと思います。

・多くの学生が非常にまじめに授業に参加してくれたと思います。レポートに、授業で教えた内容が盛り込まれているのを多々見受けました。皆さんからのアンケートを踏まえ、更に、理解しやすい授業を構成しようと思います。(地域観光論・北島隆)

・説明がわかりにくい、声を通らなかったのは申し訳ないと思っています。一方で、それらを含めて学生側からの苦情が直接来なかったのは残念です。(言いにくい雰囲気があったら、それも申し訳ないですが)(情報演習・吉野義行)

・出席のために授業に出ないでほしい。その日の与えられた課題を皆と楽しくクリアしていくので、ただ受身の態度で座っているだけの授業を望まないで受講すること。絶対、授業での私語や授業と関係ないことで授業妨害をする行為をしたら即退場させる。(ハングル・権恵京 コン・ヘギョン)

・「棄民」というテーマで講義を行いました。おおむね学生諸君には、「棄民」の認知と「棄民」の内容に興味をもってもらえたようで、満足しています。今後は「棄民」をなくすにはどうしたらよいかを、学生諸君と一緒に考えていきたいと思っていますので、どしどし疑問点をぶつけてください。(世界の文化と社会・中村茂樹)(注) 中村先生は学生からの自由回答を一覧表にまとめて下さいました。